

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19730102

研究課題名（和文） 初期近代ヨーロッパの絶対主義政治理論における古代政治学の継受の問題

研究課題名（英文） Absolutism and Ancient Political Thought

研究代表者

犬塚 元（INUZUKA HAJIME）

群馬大学・社会情報学部・准教授

研究者番号：30313224

研究代表者の専門分野：政治学史・政治思想史

科研費の分科・細目：政治学・政治学

キーワード：絶対主義、人文主義

1. 研究計画の概要

本研究は、ヨーロッパの絶対主義政治理論における、古代ギリシア・ローマ世界の政治学の継受の様態を解明するものである。これは、初期近代の政治思想史における古代の政治学の影響を確定する研究の一環をなすものであり、本研究では、前期ステュアート期イングランドの思想家を中心にして、絶対主義政治理論における古代政治学に対する理解・応答の様態を明らかにする。具体的な分析の中心は、絶対主義政治理論を提唱した思想家が、みずからの絶対主義理論を提示するにあたり、古代の政治学をどのように取り扱ったか——誰のどのテキストのどの箇所を取捨選択し、それをどのように理解・解釈し、自らの主張との関連においてどのような態度（利用・読み替え・批判・無視）を採ったか——を、テキストに明示された言及・典拠を直接の手がかりにして解明することである。本研究課題は、以上の方法を通じて、初期近代における絶対主義や主権論の思想的な位置づけを行うことを最終目的とする。

2. 研究の進捗状況

本研究課題においては、これまで3カ年にわたり、絶対主義・主権論と古代の政治思想との関連に注目しながら、16-17世紀の政治思想史における絶対主義政治理論の位置づけを確定する作業を遂行してきた。3カ年の調査において明確になった成果の中心は、図式的に整理すると以下のようにまとめられる。

(1) 絶対主義政治理論は、同時代における複数の政治思想の潮流（立憲主義、古来の国

制論、共和主義）と対抗関係にあり、具体的な政治状況のなかにおける政治的な対立関係は鮮明であるが、しかしながら、絶対主義に対抗した政治思想群の相互間のみならず、絶対主義も含めて、絶対主義、立憲主義、共和主義の理論的な差異は、抽象的な次元では必ずしも明確ではない。つまり例えば、絶対主義と立憲主義は、法と政治権力の関係をめぐり理論的に正反対の立場にあった、というのは単純すぎる歴史理解である。また、以上の点について明確にするため、18世紀以降における絶対主義政治理論の受容を解明・整理し、そうした後世の絶対主義像を相対化することの意義も同時に浮き彫りになった。

(2) 上記のように、絶対主義と対抗政治思想のあいだでは、いわば理論的な純化や差別化は明確ではなかったものの、古代の政治理論をめぐる解釈（一般にそれまでの政治理論・政治学の歴史をめぐる解釈）や、古代や中世以降の歴史をめぐる解釈の次元において顕著な緊張関係が見られる。いいかえれば、初期近代の絶対主義政治理論の思想史上の位置づけを確定するためにも、「政治思想としての歴史叙述」や「政治思想としての政治学史叙述」という方法的観点の有効であることが判明した。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

（理由）

以上の「研究の進捗状況」に記したように、ここまでの研究作業によって、古代ギリシア・ローマ世界の政治学の継受の様態に着目することを通じて絶対主義・主権論の思想史

的位置づけを図る、という本研究課題の方法の有効性が明確となったため。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、上記の「研究の進捗状況」に記したように、「政治思想としての歴史叙述」や「政治思想としての政治学史叙述」という方法的観点を利用して、トマス・ホブズズの政治思想を分析する作業を遂行する。「政治思想としての歴史叙述」という観点からはクラレンドン（エドワード・ハイド）、「政治思想としての政治学史叙述」という観点からはボダンとフィルマーが比較対象となる。今後の研究において特に集中的に遂行するのは、これまでの研究成果を順次、整理・公刊する作業である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計10件）

① 犬塚元、「ヒューム『イングランド史』のスコットランド史：1707年合同をめぐる歴史叙述の政治思想」、『群馬大学社会情報学部研究論集』16巻、83-100、2009、査読有、
<<http://hdl.handle.net/10087/4762>>

② 犬塚元、「拡散と融解のなかの『家族的類似性』：ポーコック以後の共和主義思想史研究 1975-2007」、『社会思想史研究』32号、54-65、2008、査読無

③ 犬塚元、「『啓蒙の物語叙述』の政治思想：ポーコック『野蛮と宗教』とヒューム」、『思想』1007号、108-132、2008、査読無

④ 犬塚元、「立憲主義」、今村仁司・三島憲一・川崎修編『岩波社会思想事典』、岩波書店、323-326、2008、査読無

〔学会発表〕（計2件）

① 犬塚元、「歴史/歴史叙述のなかの伝統と革命」、第8回韓国・日本政治思想学会国際学術会議、2009.07.05、立教大学（東京都）

〔図書〕（計1件）

〔その他〕

ホームページ

<<http://www.law.tohoku.ac.jp/~inuzuka/research/list-n.html>>